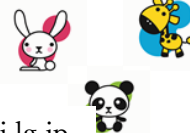




認定子ども園 竹の友幼児園だより

〒959-1503 田上町大字原ヶ崎新田 1978 E-mail takenotomo@town.tagami.lg.jp



No. 8
R 7. 1 0. 2 4



※園開放日は、お家の方と一緒にご利用ください。利用方法は玄関の掲示物をご確認ください。

- | | |
|----------------------|---------------------------------|
| 1日(土) 希望保育(園開放) | 19日(水) 食育の日 |
| 3日(月) ㊦ 文化の日 | 20日(木) 交通安全教室(4,5歳児) |
| 6日(木) ふれあい集合昼食会(4歳児) | 21日(金) えいごであそぼう |
| 8日(土) 希望保育(園開放なし) | 22日(土) 希望保育(園開放) |
| 11日(火) 消防署見学(5歳児) | 23日(日) ㊦ 勤労感謝の日 |
| 12日(水) えいごであそぼう | 24日(月) 振替休日 |
| 13日(木) 内科健診 | 26日(水) 避難訓練 |
| 14日(金) 歯科検診・絵本の時間 | 28日(金) 園だより・各種たより配付
布団・靴持ち帰り |
| 15日(土) 希望保育(園開放) | 29日(土) 希望保育(園開放) |



園行事紹介

【ふれあい昼食会】4歳児
町内の一人暮らし高齢者を対象にした昼食会で、子どもたちは高齢者との触れ合いの時間を過ごしていきます。

【消防署見学】5歳児
加茂消防署で消防士さんからお話を聞きながら、救急・消防車両の見学や、放水体験などしていきます。

【交通安全教室】4,5歳児
県警ゆきつばき号が来園し、交通安全教室が開催されます。ルーテル幼稚園の園児さんとも園と一緒に参加します。

<田上バンブー>



<田上バンブー>が好評のうちに幕を閉じました。幼児園では9/26(金)に4,5歳児(1歳児もちょっと)がアスレチックに遊びに行かせていただきました。春にたけのこ掘りをした場所が会場となり、子どもたちには地元田上がより親しみのある場所になったことと思います。

<親子ふれあい遊び>には、大勢の皆様から園にお越しいただきありがとうございました。各年齢に合わせた時間設定の中で、お家の方と過ごす子どもたちがとても満足そうな表情で和やかな雰囲気を感じました。運動会から形を変えた行事として進めてきて3年がたち、今年はさらに子どもたちを主体とした新たな形が作られてきたことを感じました。親子でのふれあいを大切に、以上児では子どもたちが主体となって作り上げることを大切にしたい時間が過ごせました。保護者の方々からも我が子の成長を感じ、充実した時間が過ごせたという感想を多く寄せていただきました。アンケート等ご協力ありがとうございました。当日の様子の一部を紹介いたします



きりん1組 マリオカート
子どもたちの考えたルール



きりん2組 れれれれれーす
劇的逆転! 子どもチームの勝ち!!



ぱんだ組 サークルタイムからスタート



うさぎ組 大きなカップと綱引き



あひる組 みんなでリトミック



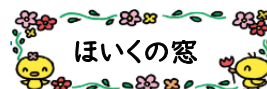
ひよこ組 バスにのって



ことり組 ちょっとだけ体操



たまご組 らららぞうきん



ほいくの窓

【叱り方がわからない】

子どもがよくないことや間違ったことをした時に「どう叱ったらいいのかわからない」「子どもを叱れない」と言う保護者が多くなっている…と聞いたことがあります。

また、逆についついきつく叱ってしまったり、感情をぶつけてしまったりして、後悔や自己嫌悪に陥ってしまった…という経験がある方もいるでしょう。特に、子どもがなかなか親の言うことを聞いてくれない時は、どこまで叱ってよいのか、どう言い聞かせればいいのかわからなくなり、困ってしまうこともありますよね。

そもそも『怒る』と『叱る』は違います。『怒る』は、自分の感情を抑えきれずに相手にぶつけてしまう行為で、『叱る』は、相手の行動や言動を改善するために、注意やアドバイスをする教育的な側面が強いです。

例えば、お子さんが玩具を片付けなくて散らかしっぱなしでいたら、みなさんならどうしますか? 毎日毎日続いていると、「お片付けしなさいって言うてでしょ!」と頭ごなしに怒ってしまいがちですね。その気持ちをグッと抑えて、「お片付けすると、お部屋がきれいになって、お母さん気持ちがいいな〜」とお家の方の気持ちを伝えてみましょう。そして大事なのは、叱った後に子どもに良い変化が見られたら、しっかりと褒めてあげることです。「お片付けしてくれてありがとう。お部屋がきれいになって、お母さん嬉しいな。助かったよ!」などと子どもの行動を褒めると効果的でしょう。「あなたはいつもお片付けしないんだから!」など、子どもの人格を否定するような言葉は避けるようにして、子どもの「心の成長」を促す叱り方を心がけていきたいものですね。

